

緑学年の素晴らしさ

2学期の生活が始まっています。3年生は今、失ってしまった時間、修学旅行等の行事の痛手から前を向き、明るく振る舞い、進もうとしています。現在学校の中心となっている2年生は・・・。

2年生も失ったものが多くあります。3年生と同じように様々な活躍の機会が制限され、何をすることもすべて思いどおりという事はありません。水泳部は、中総体が実施されなかったばかりか先日の新人大会も中止となってしまいました。11月の月上旬に代替記録会がありますが、もともと今年は新型コロナウイルスの影響で、学校プールも使用できないため活動が縮小されています。生徒たちの気持ちも穏やかではないと思います。厳しい環境下ではありますが、記録会では、全力で頑張りたいと思います。

それでも少しずつ、3年生と同じように我慢しながら、学年全体が着実に実力をつけ、成長しています。先日の合唱祭では、3年生と1年生の間に入り、歌声を膨らませてくれました。2年生の音楽の授業に対する取り組みはとても素晴らしかったです。昨日、各クラスの授業を参観してみました。1組は国語、2組は音楽、3組は英語、4組は数学、5組は技術、6組は家庭科、7組は社会、8組は数学。挙手する場面、話し合う場面、しっかりとレポート作りをする場面、みんな一生懸命頑張っています。教室の後ろから静かに入ると「こんにちは」と明るくあいさつしてくれる生徒も多くいて、とてもうれしいです。邪魔にならないようにしたいと思います。

先日の新人大会では、1年生と協力しながら、各部大活躍でした。大会が終わってからも、それぞれが体育館で、そして校庭で一生懸命に頑張っている姿がとても前向きで、素晴らしいと感じています。上位の大会に出場を決めた部活動も数多くあります。さらに努力を続けてください。惜しくも敗退してしまった部も、変わらぬ努力を続けてください。そして自分達の努力はどのような意味があるのかを考えながら進んでほしいと思います。

18日(日)には、長町地区スポーツフェスティバルを盛り上げようと、吹奏楽部、合唱部が新体制で初の外部での演奏会を行いました。まだ始まったばかりの新体制の中で、地域の方々に演奏を披露するという事は、練習をしっかりと行っていないとできない事ですので、両部ともとても立派でした。演奏自体も素晴らしかったです。感じたのは、立ち振る舞いの見事さです。やはり、パフォーマンスを披露するときの、あいさつ、コメント、礼儀作法はとても重要だと感じます。しっかりと身に付いている事がうれしいですね。

文化部で活動している生徒達には、なかなか外部での発表の機会はありませんが、放課後、しっかり活動し、校内の廊下等に作品を飾ったり、掲示したりしてくれています。学校内に文化部の潤いがあるのはとても素敵な事だと思います。

先日の第2学年の集会では、Y・Tさんが発表の中で「行事の種類によって人はそれぞれ考え方が違うと思います。しかし、私は、学級や学年、また学校にとって1つの共通点があると思います。それは、1つになるきっかけということです。考え方や得意・不得意など、違いがあるたくさんの人がまじわる学校で、1つになるということは、とても難しいことだと思います。でも、一人ひとりが違うからこそ、1つになるということがとても大切だと思います。」本当にそのとおりですね。今、緑学年は学校の中心として頑張っています。互いの個性を尊重し、違いを認め合いながら、学校全体をまとめてほしいと思っています。緑学年の皆さんにはその力があります。